

教材教具名	野球セット	教科・領域(遊び学習)
-------	-------	-------------

教材教具写真



(ボール・バット・ティー・ベース)

活動風景



教材教具の概略(ねらいと使い方) 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちや教師と一緒に遊ぶ楽しさを感じ取る。 ・野球やボールを使った遊びに興味をもつ。 ・簡単なルールを理解して遊ぶことができる。
2	発達段階	特になし
3	使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・攻撃する児童はティーに乗せたボールを打つ。バットを使うことが難しければ、手で打ったり投げたりしてもよい。打ったら1塁 2塁 3塁へ走る。 ・守備の児童は、ボールを拾って打者走者にタッチする。塁の近くにいる守備の児童に投げ、その児童がタッチしてもよい。 ・打者走者が先に1塁へ到達したらセーフで1点、2塁打で2点、ホームランで3点。途中でタッチされたらアウト。1打席ごとに交代。 ・最後に最も得点した児童の優勝。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために)

それぞれの児童の実態に合わせながら、みんなで遊ぶことができた。繰り返すうちにルールが理解できるようになった児童は、拾ったボールをベースの近くにいる友だちに投げ渡すようになった。はじめは設定して行った遊びであるが、ちょっとした時間があるときに「野球をしよう。」と児童から誘うようになった。肢体不自由児も自分のできる動きでボールを転がしたり、教師に速いスピードで車椅子を押してもらったりするを楽しんでいた。